全国アマモサミット2008

海辺の自然再生に向けた地域連携・世代連携を探る

イベントには多くの市民が参加

平成20年
12/5(金)～7(日)

参加費無料

横浜、桜木町　みなとみらい地区
http://www.yokohama-viamare.or.jp/

12/5(金) 講演+シンポジウム+展示
会場:はまぎんホール、ヴィアマーレ(受付開始9:30)

12/6(土) 世代を超えた連携による自然再生活動+パネル討論
会場:はまぎんホール、ヴィアマーレ(受付開始9:30)

12/7(日) 現地見学会(バスを利用)

海辺の自然再生には、藻場・干潟など、その地に合った生態系の保全と再生に意を用いる必要がありますが、それには、自然・社会両方の側面からのさまざまな試みが必要です。その中でも、地域に根ざした人々が主体的に自然再生活動に取り組むことが重要です。そのためには、参加者達が問題の重要性を理解し、分かり易い目標を設定し、達成度を目で見ながら行動することが力となります。

海のゆりかごと呼ばれるアマモ場は、もともと日本全国の砂泥地に広く生育し、魚やイカが産卵し、稚魚が育つ場として重要な地位を占めていましたが、近年急速にその場が失われてきました。全国津々浦々で地域に根ざしたアマモ場の再生活動が行われており、その成果が報告されていますが、さらなる活動の推進が必要です。

そこで、今回、「アマモ」と「アマモ場」を象徴的なキーワードとしてとりあげ、全国的な再生・保全活動の現状についての認識を共有し、漁業、港湾、さらには都市との共生の問題まで幅広く検討し、意見交換を行う機会を持ちたいと思います。海辺の自然再生に取り組む皆さんが連携し、情報交換することによって、全体の活動がより拡がり、力強くなることを願い、「全国アマモサミット 2008」を開催します。

皆様の参加をお待ちしています。

アマモ場での生物調査

たなびくアマモ

松沢神奈川県知事も参加した、アマモ苗移植会

春のアマモ場は生き物がいっぱい

アマモの中を泳ぐメバル

アオリイカの産卵

主催:全国アマモサミット2008　実行委員会

構成団体:金沢八景－東京湾アマモ場再生会議、国土技術政策総合研究所、神奈川県、横浜市、川崎市、東京湾岸自治体環境保全会議、(公)横浜市立大学

後援(順不同):環境省、国土交通省港湾局、八都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会、東京湾再生推進会議、東京湾の環境をよくするために行動する会

＊本サミットは、第9回東京湾シンポジウム・第4回海辺の自然再生に向けたパネル展(担当:国土技術政策総合研究所)および、第6回横浜海の森つくりフォーラム(担当:金沢八景-東京湾アマモ場再生会議)を含みます。本会議の一部は「金沢八景-東京湾アマモ場再生会議」に対する全労済からの資金援助を得て実施しています。

プログラム

12/5（金） 口頭発表+展示発表
（会場：はまぎんホールヴィアマーレ）9:30開場

10:00～13:50「場の理解と生き物の棲み処（すみか）づくり」
（第9回東京湾シンポジウム）
基調講演：ラムサールセンタージャパン「（題名未定）」
調査報告：東京湾再生推進会議・国総研「東京湾一斉調査」
パネル討論：（パネラー予定）東京湾漁業研究所、東京都島しょ農林水産総合センター、よこすか海の市民会議　他

14:00～17:00「アマモ場再生の今」
（アマモ場再生に関する全国主要活動成果発表）
岡山　鳥井正也氏「アマモ場が育む豊かな海の復活に向けて」
博多　田中憲一氏「博多湾におけるアマモ場再生の取組」
佐渡　高岡豊秀氏「佐渡発！加茂湾におけるアマモ場再生」
中海　奥森隆夫氏
「中海再生プロジェクト（アマモによる水質浄化・漁業資源の再生）」
熊本　大和田紘一氏「八代海芦北アマモ場でのアマモ場再生活動」
神奈川（横浜、横須賀、葉山）の事例

12:00～19:00「展示で見る海辺の自然再生」
①**企画展示**「場の理解のための取り組み」（約20展示）
②**公募展示**「海辺の自然再生に向けて」（約20展示）

17:00～19:00 **出展者による展示ポスター前での説明・意見交換**

19:00～20:00 **交流会**（場所：展示ポスター前、飲食なし、無料）

12/6（土） 世代を超えた連携による自然再生活動+パネル討論
（会場：はまぎんホールヴィアマーレ）9:30開場

10:00～12:00「子ども達・生徒達による自然再生の活動発表：アマモで見た東京湾のつながり」
横浜市立金沢小学校+神奈川県立金沢総合高校「アマモ場資源調査にチャレンジ！～in海の公園～」/**横浜市立瀬ヶ崎小学校**「野島の海の環境を見つめ守っていくために～今、私たちにできること～」/**横浜市立大道小学校**「森・川・里・海をつなぐ自然再生～ラムサール条約登録地をめざして～」/**港区立港陽小学校**「お台場の海とともに～アマモを育てよう～」/**木更津市立金田小学校**「小櫃川（おびつがわ）河口干潟に学ぶ」/**高知、四万十川（しまんとがわ）の子ども達**「四万十川のカギはガキです！～アカメ再生の為のアマモを守る！」

10:00～14:00「展示で見る海辺の自然再生」（前日より継続）

14:00～17:00 **パネル討論：「アマモ場再生に向けた地域連携・世代連携を探る」**
司会：與芝由三栄（NHKアナウンサー）
第1部 パネラー：稲田勉（アマモ場再生会議）・森田健二（海辺つくり研究会）・古川恵太（国総研）・横浜の高校生
第2部 パネラー：木村尚（海辺つくり研究会）・大沢光慧（アマモ場再生会議）・鳥井正也（岡山県水産課）・高岡豊秀（佐渡市水産課）・田中憲一（福岡市港湾局）・奥森隆夫（未来守りネットワーク）

12/7（日） 現地見学会 9:00～16:00 アマモ場再生・自然再生の現場の視察
（バス利用）

横浜市金沢区海の公園、（独）港湾空港技術研究所（久里浜）、川崎港東扇島東公園かわさきの浜を、バスを利用して回ります。参加費無料。昼食代は参加者各自負担。9:00にみなとみらいで乗車、16:00頃に横浜駅近辺で解散。講演者・発表者・第一次広報で申し込まれた事前登録者を優先して参加者を募りますが、一般の方は先着15名までご参加いただけます。希望者はホームページよりお申し込み下さい。見学会に参加可能な方には11月20日頃までに事務局からご連絡いたします。

参加費無料。事前登録をお願いします。

登録はホームページから！

URL: http://www.meic.go.jp/amamo2008 の申込・登録フォームから登録できます。

Fax の方はこの裏面をそのまま送信して下さい。　Fax▶045-317-9072（海辺研）

全国アマモサミット2008　参加登録　申込書

1）参加登録者

a. 氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿　b. 所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿

c. 住所　〒　　-　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

d. 電子メール ＿＿＿＿＿＿＿＿

e. TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX ＿＿＿＿＿＿＿＿

2）参加希望日

a. 12 月 5 日（金）☐ 全日　☐ 午前　☐ 午後
b. 12 月 6 日（土）☐ 全日　☐ 午前　☐ 午後

3）現地見学会［12 月 7 日（日）］の参加希望　☐ あり　☐ なし

一般の方の参加は先着 15 名までですので、ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。
なお、現地見学会のご登録はホームページからのみとさせていただきます。

①バスの下車希望場所（いずれかに必ずご記入下さい）
a. 羽田空港　（15:00 前後　航空機国内線等）☐
b. 横浜駅　（15:50 前後　JR、京浜急行線等）☐
c. 新横浜駅　（16:15 前後　東海道新幹線）☐
②昼食（弁当、実費 1,000 円程度）の予約　☐ する　☐ しない

※個人情報に関する実行委員会の取扱：参加申込書の個人情報は事務局が管理し、「全国アマモサミット2008」および今後の「アマモサミット」の開催のための資料と事後に発行予定の冊子の配送等、アマモサミット関連のみの利用とします。アマモサミットと無関係の団体や個人には渡しません。